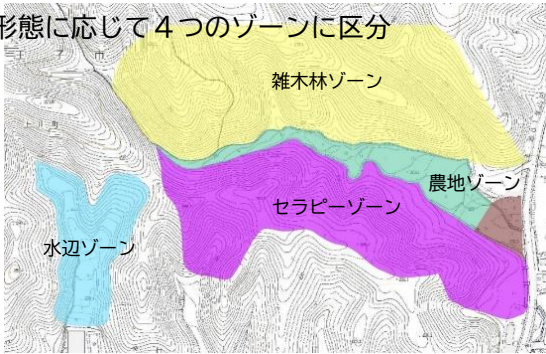


令和6年度（2024年度）上川の里自然環境調査結果

調査場所

- 上川の里特別緑地保全地区（八王子市上川町）
- 植生や利用形態に応じて4つのゾーンに区分



調査時期

- 下記時期にて調査を実施

調査項目	時期
哺乳類・両生類・爬虫類	5/28-29、7/8-9、10/17-18
センサーカメラ設置	5/28-6/6、7/8-29、10/7-25
鳥類	6/6、7/2-3、10/1、1/9
昆虫類	5/28-29、7/9-10、10/7-8、10/15
淡水魚類・水生生物	6/6、10/25
植物相	5/29、8/8-9、10/17-18
植生	9/4-5

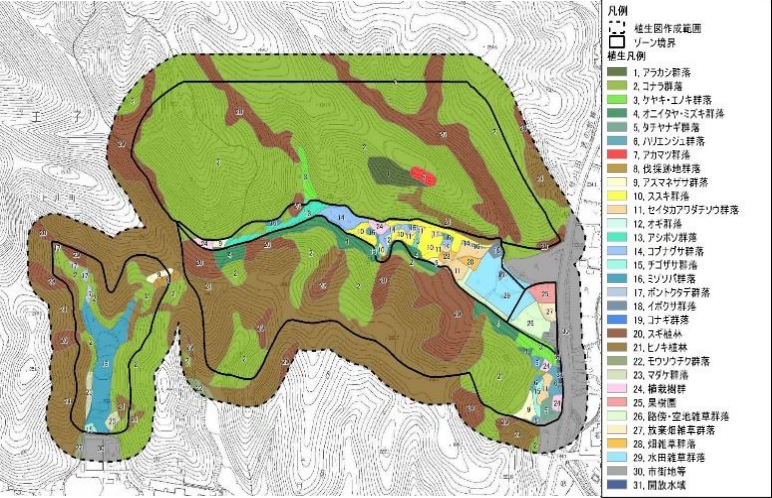
調査結果

- 確認種数

分類群	確認種	希少種	特定外来生物	生態系被害防止外来種
哺乳類	17	6	1	2
両生類	7	6	1	1
爬虫類	6	6	0	0
鳥類	53	25	2	2
昆虫類	1,056	20	1	1
淡水魚類	2	1	0	0
水生生物	82	5	0	0
植物	567	36	0	19

※昆虫類と水生生物には一部重複あり
希少種は、環境省又は東京都レッドリスト掲載種（情報不足、留意種含む）

- 植生図



調査地の特徴

- 里山の環境要素である雑木林や水田、湿地が維持されており、それらの環境を利用する鳥類やトンボ類、カエル類などが多く確認されました。また、それらを餌とするヘビ類や猛禽類も確認されるなど、豊かな生態系が維持されていました。
- 一方、アライグマやイノシシも多く確認されており、生態系への影響も懸念されます。



まとめ

- 本調査により多くの希少種が確認され、上川の里における生物多様性に関する知見が収集されました。
- 上川の里は、絶滅のおそれの高い生物をはじめとする多種多様な生物の生息生育場所が存在し、他地域への種の供給や周辺からの避難場所となる生物多様性の拠点として機能すると考えられます。
- この環境は、上川の里に関わる地域住民や企業などの保全活動により維持されており、各団体の活動が生物多様性の維持に大きく貢献していることがわかりました。
- 本調査により得られた結果を、生物に配慮した維持管理などでの活用を進めることで、地域の生物多様性の保全につながります。

